

地域とともに育てる瀬ヶ崎っ子

学校長 栗栖 光美

4月18日は、本校が創立72年目を迎えた記念日です。前日の4月17日には開校記念式を行いました。瀬ヶ崎小の昔と今を地図や写真で比較しながら紹介すると、〇〇年前は学校の周りに山が多かったことや、児童数がピーク時には1,000人近くいたことに、こどもたちは驚いた様子でした。「アスレの森は今もあるね。」「昔はリスもいたそうです。」という説明に、「今もいるよ。」とつぶやく声も聞こえました。創立70周年を記念して作成したマスコット『アスレー』は、今も職員室前に飾られています。学校を取り巻く環境は変化しても、学校を思う気持ち、そしてそこに通うこどもたちを大切にする思いは、時代が進んでも変わることはありません。

4月には、多くの地域の方やボランティア、関係機関の皆様が来校してくださいました。お話をすることで感じるのは、瀬ヶ崎小のこどもたちのためにできることを、皆様が常に考えてくださっているということです。毎朝、登校時間に見守りをしてくださっている学援隊の方からは、「今日はまだ〇〇さんを見ていないな。」「張り切っていったよ。」と、こどもたちの様子を教えていただきます。また、ある保護者の方からは「家にある花の種を学校で咲かせてください」と、さまざまな種類の花の種をいただきました。アスレの森でこどもたちが安全に遊べるように、あすのこ活動の方々が事前に環境整備をしてくださいました。多くの方々が協力してくださる姿に、瀬ヶ崎小のこどもたちは本当に恵まれていると感じます。

『やさしさいっぱい』に囲まれているこどもたちが、自分たちを支える優しさに気づき、自らの行動につなげ、優しさの輪を広げていってほしいと思います。創立記念式の最後には、『ともだちいっぱい』の歌声が体育館中に響き渡り、創立72年をお祝いしました。こどもたちの元気な声は、せがさきの風によって、きっと長く見守ってきたアスレの森や地域にも届いていたことでしょう。『みんないきいき』と活動できるよう、私たち教職員もこれからも支えていきます。

【学校にある「アスレの森」】

